

平成27年3月期 決算について

平成27年5月15日
JFE鋼板株式会社

平成27年3月期の連結業績(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(百万円未満切捨て)

連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		経常利益		特別損益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期	65,800	△ 3.3	△ 1,520	-	△ 680	-	△ 1,843	-
26年3月期	68,022	11.1	1,427	407.8	△ 2	-	788	139.5

注 連結子会社数 27年3月期 5社、26年3月期 5社
持分法適用関連会社数 27年3月期 1社、26年3月期 1社

(百万円未満切捨て)

(参考)個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		経常利益		特別損益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期	59,423	△ 3.2	△ 1,937	-	△ 679	-	△ 2,054	-
26年3月期	61,370	11.8	886	-	-	-	561	32.3

【当期の概況】

当期のわが国経済は、円安の進行等から輸出を中心に回復傾向にありましたが、消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動影響があり、活動は低水準でした。

当期の国内薄板建材需要は、上記の消費税増税の反動により新設住宅着工戸数が前年同月比で12ヵ月連続(平成26年3月～同27年2月)マイナスとなり、また、リフォーム需要も盛り上がり欠ける状況となりました。一方、非住宅も着工水準は堅調な推移を見せるものの人手不足による工事遅れが目立つ状況で低迷が続きました。

【当期の損益】

需要が低迷したための販売数量減、円安進行による亜鉛・アルミ価格の上昇の影響を受けました。また、一時的要因としては、競争力強化のための設備工事に伴う経費増、在庫適正化のための生産調整(操業度低下に伴う低価法評価損)をおこないました。

このため、連結経営成績は、売上高が65,800百万円(前期比△3.3%)、経常損失は1,520百万円(前期比△2,948百万円)、当期純損失は1,843百万円(前期比△2,631百万円)となりました。

【次期の見通し】

省エネ住宅ポイント制度、住宅取得等資金に係る贈与税の非課税措置の延長・拡充といった政府の経済政策が実施されますが、住宅建材関係需要は、引き続き低迷しており回復時期も不透明であり、更に、円安に伴う亜鉛・アルミ価格の高止りも想定されます。

当期の一時的要因は順次無くなり、低価法等の影響はプラスに働きます。更に、歩留・原単位改善などの徹底したコスト削減、高機能商品(ガルフレックス、エコガルカラー等)の拡販を図るとともに、住宅建材、フレームキット等の今後の収益基盤となる事業分野の拡大、新商品・新技術開発を進め黒字化を目指します。

以上